

PRIDE *sign*

送迎ドライバー座談会

創心會の看板を
背負う責任

佐藤式四角法

—かきかたトレーニングノート
完成記念特集

SDGsな人

Series 部門紹介 人材・職業紹介、教育、コンサルティング
人財共育支援事業部 [株式会社ハートスイッチ]

二人社長に聞いた人財共育支援事業のこと

家トレ倶楽部

創心會の笑顔

投稿紹介

創心會
グループ

新たな一歩を
照らす。

送迎ドライバー座談会

創心會の看板を 背負う責任

地域を超え、事業所とご利用者様宅の送迎業務を通じて様々な連携・協働の経験を積んでいる送迎ドライバー。これまでのキャリアや人生経験豊かな者たちが、それぞれの見方・考え方で、送迎ドライバーとしての使命感について語る。



人生最後の仕事は、 出来れば人や社会の役に立ちたい

——創心會グループの各拠点には、ご利用者様のご自宅と事業所間を送迎する専属のドライバーが多数在籍しています。今回は、倉敷市で勤務13年目をむかえる超ベテランドライバーをはじめ、西は福山市、南は高松市からオンライン座談会に集っていただきました。まずは、皆さんがこの職業に就かれたきっかけを聞かせてください。

鳥越 私は前職では製鉄会社に長く勤めていました。定年後、ちょっと時間が空いていたとき、まだまだ動けるし、何かしたいなと考えて、ハローワークへ行き、創心會に出会ったのが経緯です。

羽原 私は「最後の仕事」は、できれば何か人のお役に立てたらと思うて仕事を探していたら、創心會の送迎業務の募集を見つけたのがきっかけです。前職では、魚市場で真夜中の12時、1時に出勤していたので、朝早いのも平気ですし、家から近いこともあり応募しました。

大西 入社当時は二つ三つ仕事を掛け持ちしており、時間的な面で良かったのと、営業の仕事で30年近く運転をしていたので、車に乗って出来る仕事を探してハローワークに行き、創心會と出会いました。

——前職では皆さん福祉関係のお仕事とは無縁だったとのことですが、実際に働いてみる前と後でギャップを感じたことはありませんか。

鳥越 私はドライバーというと、運転だけするイメージだったんですが、おととこい（笑）。送迎車にお乗せするには、まずベッドから車イス、車イスから送迎車と移乗介助することも多いですね。ご利用者様の重心が傾いてからは支えきれないので、常に側を離れないよう手を添えたりしています。そういった介助が必要な方が、私がいる事業所では半数くらいはいらっしゃいますね。そのギャップは大きかったです。

羽原 実は、私には42歳になる次男

に最重度の障害があり、40年以上ずっと世話をしている経験があります。だからこそ誰かの役に立てたいという思いが志望動機にもなったので、高齢者と障害者では違えど、あまりギャップなく仕事に入れました。

大西 私の場合は経験や知識がゼロで入社したので、いざご利用者様を前にして、本当にやっていけるのかわり不安がありました。反面、それ以上に「させてもらわなければ」という思いがあって、知識を得たり、勉強しなければと思っています。

——皆さんの仕事を通じた忘れられない出来事とか、経験談を聞かせてください。

鳥越 初回利用のご利用者様宅へ、その日渡された地図を見ながらお迎えに行ったものの、交通状況が全くよめず渋滞で遅れてしまふ事態に。同乗予定の他のご利用者様宅には代わりのスタッフに行ってもらったことがありました。それ以来、初回利用日が決まり次第、なるべく早く送迎ドライバーにもお伝えいたしたい、事前にルート確認をできるようにしています。送迎の際は迎えと送りルートが違いますからね。他に

羽原 史郎 SHIROU HABARA 鳥越 一夫 KAZUO TORIGOE 大西 正夫 MASAO OONISHI



送迎経験
7年

創心会リハビリ倶楽部新涯

1951年、広島県福山市生まれ。水産物卸売業の代表取締役として、25年間勤め定年退職。人のために役に立ちたいと想っている時に送迎の仕事を知り、最後の仕事として、創心會へ2015年に入社する。
・趣味:スポーツ(球技)観戦、映画観賞
・好きな食べ物:中華(なんでも食べます)



送迎経験
12年

創心会百年煌倶楽部茶屋町

1949年、岡山県英田郡美作町生まれ。川鉄(現在のJFE)を定年後も延長し、30年近く勤務。その後退職したが、まだ働きたいと思い探し、2010年に創心會へ入社。玄関先などお客様・ご利用者様を気持ちよく迎えられるようにしている。
・趣味:うるし金継ぎ・山野草
・好きな食べ物:和食・果物



送迎経験
6年

創心会リハビリ倶楽部高松中央

1954年、香川県高松市生まれ。卸問屋や食品センターで40年勤務後、これからの将来のために創心會へ2016年入社。送迎の係として、送迎表作成や環境整備、車輛美化にも務めています。
・趣味:映画、ドラマ鑑賞
・好きな食べ物:カレーライス、豆料理
・飼っている動物:キンカチョウ2羽

福祉車両を操作し、一人でも多くの方の社会参加を支援します





感染対策を徹底し、社内の消毒や美化に努めます

ボンが濡れているのが確認できました。お風呂場をお借りし、お着替えをさせていただいた後、出発するところが出来ました。ご本人様は私に悪いと思われたのか、発語が難しい代わりには表情や顔を下げたりされる。その姿を見まして、本当にありがとう、という気持ちで私自身にも伝わってきた。良い経験をさせていただいたなと思いました。

——皆さんの送迎ドライバーとしてのやりがいを見せてください。

鳥越 やはり、ご利用者様やご家族様から「ありがとう」とか、そういう言葉を掛けてもらうのが嬉しいですし、一番ですね。他にも、「いつもすみません」と言われる方も多いです。「いやいや、そんなことないです。皆様がいってくださるから、自分なんかにも仕事があつて、お給料がもらえているんですよ」なんて楽しく話すこともありまして、やはり必要とされているからこそ出来る仕事だと思っています。10年以上送迎をしていると、皆さんとご家族のような感じになることもありますね。

羽原 ご利用者様はもちろん、ご家族様とお会いする機会が多いのも私

な和やかな気分になっていただけたらとも思いつつ取り組んでいます。——ご利用者様やご家族様、そして地域社会の皆様に向けて、心掛けていることを聞かせてください。

鳥越 やはり地域の方とは、例えば駐車場へ行き来する時など、日々当たり前にお会いする機会がありますので、笑顔の挨拶や声掛けを心掛けています。また、車中であっても、出来るだけ笑顔で会釈をすることは



車両は大切な仕事道具。安全で快適な走行を心がけ、整備する羽原さん

大西 以前、時間が早すぎて待機していた場所が迷惑だったことに気が付けず、会社へクレームがありました。これは大変なことをやらしたと大変反省しましたし、創心會という大きな看板を背負っていることを実感しました。創心會＝地域に密着した会社でありたいと思います。

——皆さんが現在目標として考えることを聞かせてください。

鳥越 目標というのか、決めて実践していることが二つあります。まず一

地域と共にある創心會の看板を背負い、信頼を守るといふ覚悟

達ドライバーです。当然、そこには会社の看板を背負っている。やつぱりそういう意味では責任感を持って仕事ができることがやりがいです。あと、年齢が近いというのも大きなポイントです。昔話も僕らは分かる年代。送迎中の車内で色々な話題を共有できることもご利用者様と接する中でやりがいですね。

大西 お二人と同じですけど、本当にもとも大切な役割を私たちは担っているなというのを日々痛切に感じますね。そして、羽原さんのお話にもあった、年齢層がお互いに近いので、そういう面では本当にまた違つた形で、お互いの心を癒し合えるのではないかなと思ったりします。

——送迎業務の質を保つために努力や工夫していること、徹底していることがあれば聞かせてください。

鳥越 やはり安全に運転するためには速度制限は守る。急発進・急ブレーキ・急ハンドルを避けるという

点目は車の点検ですが、毎週月曜日に日常点検の記入用紙にはない部分を点検するようにしています。例えばシートベルトに切れ目がないかどうかですね。もう一点は、車両1台毎にドライバーの責任者決めて、日々自分が乗車するか否かにかかわらず、外回りを見て凹みや傷がないかを確認しています。乗車の際には燃料の残量を確認して給油する等も責任者の役割です。一人ひとりが責任を持って、送迎車両を管理していること決めて、みんなで実践しています。あとは、最初にもお話しした新規のご利用者様宅の場所をいち早く確認して、送迎を組んだルートの確認には、なるべくドライバー皆で「場所はどこだよ」とか、東西南北を覚えられるように、事前確認するようになっています。車両関係の記帳なんかも事務の方がしてくださっていると思うんですけど、細かいことはこちらの方で出来るだけやれたら良いかなと思つてやっていますね。

羽原 確かに車両の管理は大切ですよ。車外はもちろん、車内の方も髪の毛が落ちていたり、愛犬や愛猫の毛と一緒に車に入ってくることもあるので、飼っていない方が不快に思われないように気をつけますね。

意味でも、やはり時間に余裕を持って運転するというのが一番の徹底すべきラインだと思いますね。

羽原 ヒヤッとした危ない箇所を報告し合つて危険を共有することが重要。今日はどうだったか、常々共有することで、初めて送迎に行く道でも違つてくると思っています。あとは、質を高めることではないのかもしれませんが、毎朝ある程度、政治から芸能まで広くニュースをチェックし、ご利用者様が話される内容が分かるよう情報収集します。特にスポーツは地元カーブ愛が強く、盛り上がるので絶対です(笑)。

大西 運転中は「大西さんの車に乗ってれば安心」と思っていただけ。ような安全運転を心掛けています。ご利用者様の状態・状況をとにかく確認して、いつもと違つたところ、例えば、今日は歩行時にふらつきがある、乗降し辛そうであるとか、ご家族様から聞いた話はスタッフに共有出来るよう自分なりに工夫しています。送迎の時間がドライバーしているよう

送迎ドライバーとは？

そうげいどらばあ
【送迎ドライバー】

送迎業務には、「普通自動車第一種運転免許」が必要。デイサービス等の事業所に所属し、複数のご利用者様を安全運転で送迎する。主な業務は、送迎の他、ご利用者様の乗降のサポートや福祉車両の清掃および管理、走行記録の作成。送迎範囲は、ご利用者様の疲労やストレスを軽減するため、車で片道30分程度の距離としている。

安全第一で運転するために

介護の送迎車に乗っているのは要介護の高齢者です。体に痛みがあったり、骨が弱い方にとって、急ブレーキや急ハンドルは体に負担がかかります。運転の仕方では怪我や痛みにつながったり、転倒事故や交通事故などを防ぐために送迎マニュアルを徹底するために安全運転研修を行っております。また、呼気アルコール検知器の使用義務化に向けて、10月から順次導入を積極的に進めています。

呼気アルコール検知器

創心會グループの
送迎ドライバー

送迎ドライバーの割合

創心會グループでは **107** 人のドライバーがいます



9人に1人が送迎ドライバーです

男女比



年齢層



送迎車には創心會
オリジナルのカーラッピング

地域の方々に創心會グループを覚えていただきたいと思い、送迎車には、各法人ごとにデザインされたオリジナルのカーラッピングを採用しています。



介助される側の目線を大切に、介助指導を受ける大西さん

自分の経験を役立てられること、
地域の方との出会い、すべてが財産に

目標と言っわけじゃないですが、楽しく仕事ができること。それも一つの事故防止になると思うので、ドライバー同士、よい意味でコミュニケーションを取ることに。特に新しい方が入ってこられたら、とにかく楽しく仕事を続けていただけたらと思っています。最初から出来る人はいなくて当たり前。そこは目線を同じにもつていけるよう心掛けています。あと一つは、やっぱりご利用者様が口コミで「今、創心會がええでーあそこ行ってみたいー」みたいな感じで地域に広がったらな、って思います。実際に仰ってくださる方もいらっしゃいますが、やっぱり、そういう声が一番嬉しいし、できればそういう口コミが増えるように、ドライバーとして気を配っていきみたいなと思っています。

大西 創心會に入る前は、身体の大切さとかあまり考えたことがなくて、かなり無理して仕事したり、色々していました。創心會に入社して、本当に体が一番だなというのをし

みじみと感じています。日々、送迎ドライバーとして働けることに感謝です。なので、目標として、まずは三〇〇日間無事故で行こうと決めて安全運転に努めています。あと三日で三〇〇日。到達することが出来たら、次は六〇〇日と、自分なりに数字を掲げること、おっちゃんちよいな自分ですが、より気をつけられるように目標を立てています。

——お仕事だけでなく、ご自身の健康面に関して等、日頃から心掛けていることはございますか。

鳥越 やはり健康第一で、暴飲暴食を避けること、やはり睡眠は十分取れるように努力しています。近くで家族がテレビを見て音がうるさく感じることもあるんですけど、出勤の前日は「明日は早いから、いいかげんに寝てくれ」と言ったり、睡眠が取れるよう意識してますね。

羽原 同じく暴飲暴食は避けるということが一番ですね。あと、僕らみ

う思いがあります。

大西 高松中央地域リハビリケアセンターでは、創心會カフェやハツラツ倶楽部といった地域の方を対象にしたイベントを月に2〜3回ほど、土曜日に開催しています。事業所としてそういう場を提供しているんですけど、地域の方が来所された時に精一杯笑顔で明るく接せるようにしています。少しでも「創心會っていいところかな」って感じていただけるようなことを、私自身が一つでも出来たらなと思います。地域の方々と輪を広げていくことで、また地域に対しても大変いいことになるのではないかなと思っています。

たいな年代になっても続けていけるなと思うのは、時間が決まっていることが大きいと思います。魚市場にいた頃は時間が不規則で身体は結構きつかったんですけど、今は決まった時間で、途中に休憩をはさんで働けるというのは、健康管理がしやすく、非常に喜んでいきます。

大西 私も健康面での注意とか、睡眠時間を十分取ることもですし、あと朝ラジオ体操をすることで気をつけています。

——最後にこれから送迎ドライバーになるうとする方々や地域の方々へ、何かメッセージをお願いします。

鳥越 やはり、地域の方の声が一番貴重ですね。地域の方は道や交通量なんかもよくご存じですし、土地勤もある。その中で事業所近くに住まいの方が送迎ドライバーになってくださったら心強いですよ。入社されると、例えば、ご利用者様の麻痺側が右か左かよって介助方法や配席に気を配る必要があるんですけど、こういう風になると乗降しやすいとか、そういう面の勉強もあります。徐々に覚えて、お互い頑張っていくたいと思っています。

【座談会を終えて】本号では、介護の周辺業務を担う専門職種に注目し、送迎ドライバーの座談会を企画しました。初対面かつオンラインでの座談会は、いったいどのような対談になるのか御三方ともドキドキされていたかと思いますが、いざスタートすると仕事への強い使命感や、地域の交通社会を支える一員としての責任ある言葉の数々が聞かれました。ご利用者様やご家族様、そして地域社会の声を身近な立場で聞けるからこそ、日頃から積極的な挨拶やコミュニケーションを図り、安全な介助と運転へ研鑽を積まれていることも伝わってきました。誌面ではペー

笑顔を絶やさず、安全運転で送迎に向かう鳥越さん



羽原 私達の年代は親と同居していたり、親の介護経験がある方も少なくないと思うので、やっぱりそういう経験とか知識が活かせる機会になると思います。そういった知識とか経験を広めることは大きな価値があるんじゃないかなと思うし、地域のためになる役割だと思っています。地域の中で仕事ができる。そういう方と交流を持てるというのは、私達にとって非常に大きな財産になると思いますので、今以上にたくさんの方に一緒に働いていただけたらなとい

ジ数の関係で残念ながら紹介しきれませんでした。他にも新しく入社される方への働きやすい職場環境づくりや、ご自分たちよりも若い世代を見守り導くこと、エコドライブなど環境問題への配慮など、話題も幅広く、座談会後も御三方がそれぞれに関心をもった取り組みについて情報交換をしよう様子から、改めて創心會グループの地域社会での看板を背負ってくださっている仕事だと感じられる貴重な対談でした。これからも道を繋ぎ、人を繋ぎ、世代を繋ぐ存在であり続けてくださる送迎ドライバーのご活躍を楽しみにしています。(聞き手 広報CSR部/河崎崇史)



美文字ポイント2

美文字ポイント1

丁寧にゆっくり、接点の○印を確認しながら、お手本の薄い字を10回なぞるトレーニングをしてみましょう。繰り返しなぞる事で文字の感覚を手が覚えます。トレーニングの前と後の文字を比べると、たしかに変わっていることがわかります。

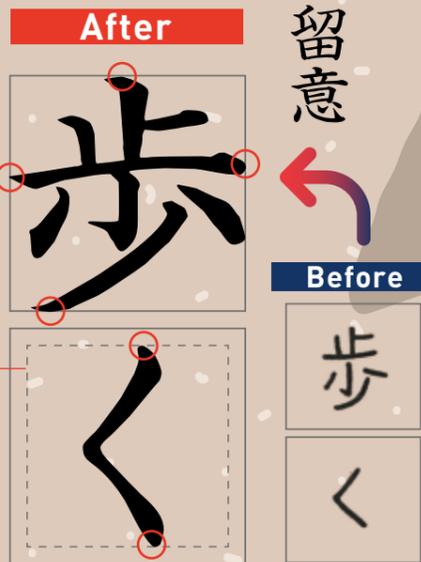
お手本を繰り返しなぞることによって、手が字の形を覚える

漢字、ひらがな、カタカナの文字は基本的に四角の中にあります。字のどこかがこの四角のマスにくっついていきます(接点)。ひらがなは、漢字の四角より少し小さめです。かきかたノートでは、四角のマスに接点の○印がありますよ。



「これわたしの字ですか!」と創心会ご利用者のお二人

お一人は「生かいができました。トレーニングを続けました」と語られました。



接点の○印に注意して四角のマスいっぱいにお手本をなぞって書きましょう。ひらがなは漢字より四角のマスを小さく

だれでもできる / いきなり文字が変わる!! 佐藤式 四角法 かきかたトレーニングノート 完成記念 特集



現在 販売中

販売・お問い合わせ コミュニティスペース Chaya-Cafe(チャヤカフェ) 住所:倉敷市茶屋町2104-1 創心会リハケアタウン東館1階 電話:086-420-1501

B5判、48ページ、550円(税込) ※送料がかかります場合があります ◎考案・著作/佐藤 圭一 ◎発行拠点/株式会社 創心會



筆耕歴三十年の経験から得た 佐藤式四角法

賞状等の文字を書く筆耕職人を30年経験した佐藤圭一さんが、その経験を生かし、実験を重ね、この程「四角法かきかたトレーニングノート」を考案されました。特徴は、従来の「手本を見ながら書く」ということを改善し、「示されたポイント(接点)を意識しながら、手本の文字をなぞって書く」というトレーニング方法で、いきなり文字が変わるように工夫されています。

このノートは令和4年5月、特許庁から実用新案に登録されました。くせ字を直したいとか、美しい文字のコツが知りたいという方にぜひお試しいただきたいものです。発売にあたっては、創心會グループが全面協力、二神代表は「目を使い、頭を使い、手を使う。脳は美しいと思ったら活性化される。出来た喜びや出来ることを知ると我々の方針でもある「本物ケア」につながる」と話します。今後はデイサービスや児童発達支援サービスなど、様々なサービスの現場に導入していく予定です。

佐藤圭一プロフィール

昭和3(1928)年、岡山県倉敷市茶屋町で生まれる。教職歴は39年(小中学校教員、校長)。退職後、筆耕職人として様々な賞状や文字を書く活動のほか、茶屋町公民館館長や大学の非常勤講師を務める。昭和39年から茶屋町史編集委員として参画し、郷土史の執筆・編集、出版を多く手がける。茶屋町鬼保存会の復活や磯崎眠電顕彰会の立ち上げに携わるなど地域活動を積極的に行う。平成28年3月に瑞玉双光章授与される。

【主な著書・及び執筆活動】

《郷土史関係》 「昭和39年茶屋町史」「昭和49年親と子の茶屋町史」「平成2年改訂版茶屋町史」「平成18年茶屋町史千拓300年記念誌」「平成20年磯崎眠亀、錦莞筵、技とその周辺」「平成28年親と子の茶屋町史再改訂版」

《教育関係》

「昭和62年読まれるPTA新聞」「昭和63年校長室からの一〇一年」



かきかたトレーニングノートは、我が子のようにかわいいと話す佐藤さん



山陽新聞や倉敷ケーブルテレビ等の取材を受け、四角法が紹介された

二社長に聞いた人財共育支援事業のこと

介護人材の育成支援を強みに、 地域コミュニティにアプローチをかける。



創心流の本物ケアが提供できる介護人材を育成するという目標を持って立ち上げた会社が「株式会社ハートスイッチ」です。過去には、介護スタッフを募集すると、「他に仕事がないから」という理由で介護業界に來られる方がいて、創心會の理念を理解していただきづらい状況に歯がゆさを覚えていたんです。だから自分たちで本物ケアができる人材を育成し、地域に浸透させよう！と力を注いできた会社なのです。これまで累計2000人を超える方々が研修に参加され、今では他事業所の従業員にも受講いただくなど、多くの方々に活用されています。「働くプライドを育てる」という強い想いを持ったスタッフたちの活躍と、その想いを大切に守っていることという姿勢が高く評価されていると感じています。

医療・福祉業界で働くプライドを育てたい

新たに旅行介助士養成講座がスタートしています。私の尊敬する大田仁史先生(リハビリテーション医療・介護の第一人者)が「旅は最高のリハビリになる」とおっしゃっているように、その効果は大きく、スタッフ側にも日常ではわからない動作能力の確認など、貴重な情報を得られるメリットがあります。私はこの資格に関わる一般社団法人の設立メンバーの一人として、旅行のプロと介護のプロがセットで提供するサービスの構築に携わる一方、介護スタッフが副収入を手に入れる仕組みを作りたいという思いから、国内旅程管理主任者(添乗員)も同時に取得できるカリキュラムにしました。集団旅行では添乗者が複数必要になりますし、個人旅行の潜在的なニーズもあって、非常に価値のある取組みだと思っています。

介護スタッフが副収入を得られる仕組みづくり

さらに2022年6月からは、高齢者や地域住民の活躍を推進する事業も始めました。その仕掛けづくりの第一歩が、介護施設の中でアシスタント活動をする方の養成です。専門職がやるべき仕事と、介護アシスタントができる仕事を明確に分け、それを地域の方々に担っていただく。シニアの方が活躍できるようにイメージを持っており、ボランティアですが有償化を視野に入れて考えているところです。介護問題をはじめとする様々な社会課題を地域の方々と一緒に解決していく。そんな関係づくりを目指していることをご利用者様や広く地域の方々にも知っていただき、創心會グループのスタッフと共に地域との接点を担うグループ法人としての役割を果たしていきたいと考えております。ぜひ今後も期待してください。

地域の方々と社会課題を一緒に解決できる関係へ

人材・職業紹介、教育、コンサルティング^他

介護・福祉業界を人材面から支援し、
教育、組織形成などから人と組織の活性化を支える事業です。



実践的な講座や実習内容で、受講者の資格取得をサポートします

日本は少子高齢化し、生産年齢人口が減少しています。多様化・複雑化する介護ニーズに対応していくためにも、厚生労働省では、多様な人材の確保に向けた政策を施行しています。具体的には、介護分野への介護未経験者の参入を促進することや、介護人材の熟練者やリーダーを育成すること。また人材育成に取り組む介護事業者の認証評価制度や多様な働き方の導入モデル、介護の仕事の魅力を発信することなどです。介護・福祉事業を支える人材確保と教育支援は、暮らしの安心や地域の課題を解決するためにも大変重要です。

個の力を引き出し組織の活性化へ
株式会社ハートスイッチの「人材共育支援事業部」は、介護の資格取得講座事業、研修・セミナー事業、医療・福祉に特化した人材紹介・職業紹介事業、コンサルティング事業を通じて、地域の介護事業所をサポートし、またすべての人のキャリアアップやモチベーションアップを応援します。
ご利用者様の自立・自律を促すためには、そのケアに関わる介護職員等の心構えも前向きであることで、より良いケアができます。介護技術や接遇マナー研修、リーダー層への研修の他、創心會が培ってきた、創心流リハケアのノウハウも織り交ぜて、人材がさらに「人材」へと成長していけるようお手伝いしています。また教える側も教わる側も共に成長できる環境をつくることで、組織の活性化・強化につながります。人材紹介や職業紹介事業では、企業と求職者のベストマッチングを目指し



あらゆる人の地域社会への参画と教育をサポートします

サービス内容

- ① 資格取得講座事業
- ② 研修・セミナー事業
- ③ 人材・職業紹介事業
- ④ コンサルティング事業

ます。
今後は、介護の補助や特技を生かしたサポーター人材を育てる事業や一般社団法人日本介護旅行サポーターズ協会の「旅行介助士養成講座」を開講しながら、介護を伴う旅行者の支援及び多様な人々の社会参加に貢献していきます。

株式会社ハートスイッチ 人財共育支援事業部





ESDエイジーズ
 [SDGs Sustainable Development Goals] 世界共通の合言葉として、2015年9月の国連サミットで加盟国の前回一致で採択された持続可能な開発目標。思想や文化、人種や国を超えて、よりよい未来にしたいための17の目標です。企業や個人、大人や子どもなど、年齢や立場によってできる行動はそれぞれです。まずは、自分ならどうするか。それを一人ひとり考えていきましょう。ここでは、創心グループのSDGsを体現している人を紹介します。よりよい未来へのつながり、可能性を感じてください。

1 3 10 11 16

日本の優れた良識は豊かさの二つ

福祉とは「幸せ」や「豊かさ」という意味があり、少子高齢社会の日本は高負担、低福祉の政策になったという声があります。確かに社会保障の負担は軽くはないかもしれませ

ん。しかし一方で、出身や民族、宗教や性別の違いで差別・迫害や紛争などが起きる国と比べれば、そういう不安が少ない日本は「豊か」なのかもしれませんし、それを保とうとする国民の優れた良識も豊かさの尺度の一つではないかと思えます。



▲ Miyachi Akira

2 4 12

いつも食事があがる有難さを子どもたちへ伝える

少し古い価値観かもしれませんが、食べ物好き嫌いがあっても全ていただくこと。家でも子どもたちに「食べられることは当たり前ではないし、料理を作るのも簡単ではないんだよ。」と伝えて、いつも感謝の気持ちを忘れません。また、食べている物が、いつ、どのように採れるのかを家庭菜園を通して一緒に考え、食への興味・関心が高まるように工夫しています。

再利用ができる生産と消費の仕組みを想う

東日本大震災発生後の電力問題から、自宅に太陽光発電を設置しましたが、太陽光パネルがリサイクルをする事ができず、埋め立てゴミになっているという話を聞き、再利用できる仕組みをまず作ってから、普及させるべきと強く思いました。近年ではコロナの影響で、不織布マスクが道端に落ちていくが増えています。これは土にかえらないものなので、私も自然環境の維持に無責任にならないよう、そういったものを拾ったり、自分も落としてしまわないように気を付けています。

3 4 8 10 11 16

困っている人に手が差し伸べられる専門性を持つ

支援本部 内部監査室は、創心会内の「良識の府」でありたいと思っています。それは制度や法などに基づいた法令遵守を統制すること、さらに社会や時代の変化に伴い、企業や法人としての在り方、考え方を踏まえ、ルールの見直しや適性にしていく企画提案もしていきます。物事を深く広く見通して、より良い選択ができるようにしたいです。そして職務役割とは別に「困っている人を助ける」「専門を楽しんでやる」気持ちを大切にしたいです。職能団体での役務は業ではありませんが、そういう自分を鍛える絶好の場です。

地域の将来課題を見据えて職能の経験を積む

職能を活かし、社内では、福祉人材養成校からの実習生や外国人労働者の受入れなどを行っています。社外では、研修講師や職能団体の活動で調査・研究や政策提言等にも関わってきました。いずれも大変やりがいがあります。様々な産業で外国人材が定着・定住するようになり、その子どもたちが日本の生活に馴染めるよう、日本語教育の支援要請が私の登録しているボランティア団体にも入ります。社内での経験を活かしてこのような地域の課題にも応えられるよう、今後も自分の職能を磨いていきたいと思っています。



社会福祉士養成校にて将来のソーシャルワーカー育成にも協力している



岡山県国際交流協会との連携で外国人児童の日本語学習サポートを行う



支援本部 内部監査室

私たちは、各サービス事業所の法令遵守の義務の履行を確保するため、業務管理体制の整備やルールを義務付けることにより、指定取消事案などの不正行為を未然に防止するとともに、利用者の保護と事業運営の適正化を図り、創心グループ事業への信頼を保ちます。

■場所 / 〒710-1101 倉敷市茶屋町2104-1
 ■電話 / 086-420-1500 ■FAX / 086-428-0946
 ■営業 / 8:30 ~ 17:30
 ■休み / 土曜日、日曜日、年末年始(12月31日~1月3日)

創心會の笑顔

体を動かしていると、元気ハツラツ、笑顔も出てきますね。創心會グループの笑顔が素敵な方を紹介します。

和歌山県高松市
創心會グループ
高松中央地域リハビリケアセンター



※撮影時のみ、マスクを外しています



百年煌倶楽部 茶屋町



リハビリ倶楽部 笹沖



リハビリ倶楽部 玉島



五感リハビリ倶楽部 益野



五感リハビリ倶楽部 岡南



百年煌倶楽部 平田



リハビリ倶楽部 益野



五感リハビリ倶楽部 (笹沖)



元気デザイン倶楽部 茶屋町



リハビリ倶楽部 高松中央



リハビリ倶楽部 茶屋町

創心會高松中央地域リハビリケアセンター センター長 八木 洋樹 (やぎ ひろき)

グランプリ

寒霞溪 かんかけい

見渡す景色

自然なり

【講評】 寒霞溪は、小豆島にある「日本三大奇景」の一つ。東西7km、南北4kmにおよぶ大渓谷の紅葉は、十一月中旬〜下旬にかけて、ロープウェイから絶景が楽しめるそう。紅・黄葉する植物だけでも50種を超える大自然は見事でしょうね！

訪問看護リハビリステーション高松中央

北原 秋彦

準グランプリ

静かなる

湖面に映る

紅葉かな

【講評】 静かな水面は、まるで鏡のように紅葉を映し出し、まるで時が止まったかのような透き通った空気を感ぜさせます。見ている人は作者だけでもしょうか。独り占めできたら、最高に贅沢な光景ですね。

そうしんクリニック茶屋町

篠原 みどり

投稿紹介

テーマ 紅葉

今回は152句の投稿がありました。ご応募いただき、本当にありがとうございました。ごさいます！次回もお待ちしております。

次回テーマ 雪

次回締切: 2022年10月末日
投稿方法: 投稿用紙に作品を書いて
◎投稿箱 または、
◎FAX(086-428-0946)
に投稿をしてください



事業所の玄関やフロアにあります

入選

- たいように まけじとはえる **もみじかな**
元気デザイン倶楽部茶屋町 岩崎恒子
- 心行く 思い出の大山 **黄金色**
リハビリ倶楽部高松中央 佐々木明子
- せせらぎを 肌で感じる **紅葉谷**
リハビリ倶楽部邑久 太田賢
- 故郷は 紅葉の山よ **訪ねたり**
リハビリ倶楽部邑久 浮田富子
- 一枚の 紅葉拾いて **栞する**
百年煌倶楽部平田 平松幹也
- 窓開けて 朝日に映える **もみじかな**
訪問看護リハビリステーション中洲 岡田良平
- 古里の **もみじ稲穂を 巡りたり**
リハビリ倶楽部大安寺 小野孝子
- 銀杏の **香りただよ 由加の道**
リハビリ倶楽部児島 川畑金宏
- 渓谷の **紅葉は錦 水の音**
訪問看護リハビリステーション中洲 大塚重清
- 紅葉 **大夕焼けと 競い合う**
元気デザイン倶楽部総社 渡邊雅章

佳作

- ハイタッチ **紅葉のような 會孫の手**
リハビリ倶楽部児島 岡野啓子
- 秋深し 遠き山々 **もみじ色**
リハビリ倶楽部笹沖 山中祐治
- ひらひらと **もみじ葉散りて 冬近し**
元気デザイン倶楽部(笹沖) 藤原恒子
- 杖をつき **夫婦で歩く 紅葉山**
百年煌倶楽部平田 眞谷豊穂
- 文化祭 **君と見ていた 紅葉色**
リンクスライヴ笠岡 福島秀晃
- 晩秋の 夕日に映える **紅の道**
リハビリ倶楽部益野 岩井宏枝
- 眠る子の **紅葉手そーっと 撫でてみる**
百年煌倶楽部平田 岩永利正
- 暮れなずむ **落ち葉の絨毯 踏みしめて**
リハビリ倶楽部高松中央 江本雄二
- 植林の **緑に絡まる 黄一流**
元気デザイン倶楽部総社 西村洋子
- 秋ちかし **いろいろのいろ 心おちつく**
百年煌倶楽部茶屋町 池田克子
- ビールあけ **紅葉ともに 顔赤め**
リハビリ倶楽部児島 中奥コズエ
- 紅葉の **萌える頃には 冬支度**
元気デザイン倶楽部茶屋町 小引仁志

このコーナーでは川柳や俳句、短歌を(ご自身の作品で未発表のもの)募集しております。投稿されたものは、社外報やウェブサイト等に掲載することがありますので、ご了承ください。審査員がじっくりと選ばせていただいております。わからないことはお近くのスタッフ、または広報CSR部までお問い合わせください。ぜひ皆様の投稿を楽しみにしております。

表情筋トレーニング

活舌がよくなる運動

ここに効く!

口周囲の表情筋群



言葉のもつれや飲み込みが改善する訓練です

お話するには、口周りの筋肉が大切です。口周りの筋力をアップして、楽しくおしゃべりしましょう。

今回のトレーニングは、食べ物を噛む力や飲み込む力を鍛える効果や、頬を引き締め若々しい表情を保つ効果もあります。



家^{いえ}トレ^{いえ}倶楽部

基本編

1

割り箸を割らずに唇でくわえ、唇を「イー」の形に開き、「ウー」の唇で割り箸が落ちないように、上下の唇でしっかり挟む。



呼吸(鼻から吸って口で吐く)を止めないようにしましょう

2

唇の形をキープして、割り箸が落ちないように、そのままキープします。10秒、30秒、1分、3分と徐々に長くしましょう。



目指せ
3分間キープ!

割り箸が落ちそうになる場合は、軽く手で支えましょう

家トレ倶楽部
動画でチェック!



<http://pr6.space/0/> 家トレ

チャンネル登録

応用編 **強度アップ!**

内側から指を軽く添えると指の重さが負荷になります。②と同様に、保つ時間を徐々に長くしたり、指の本数を増やしたりして、最終的に指3本3分間をキープできることを目指してみましょう。



指1本



指2本



指3本

訓練ポイント!

唇が割り箸を巻き込んだ形にならないようにしましょう。**鏡の前**で確認するとやりやすいですよ。

NG



※疾患がある方は、かかりつけ医や専門職にご相談ください。

※運動時に痛みや動悸がある場合は中止してください。

そうしんクリニック茶屋町

言語聴覚士/二神 絵梨香(ふたがみ えりか)



1

株式会社伊藤園様 御協賛

オリジナル冷凍ごはんコンテナ



30名様

(2個入り・レシピ付)

詰めて、冷凍して、チンするだけ!の時短料理で話題の冷凍コンテナごはん。保存に便利な日付ダイヤルや蒸気弁がついた伊藤園オリジナルのコンテナです。コンテナ内は二重構造になっており、炊き立てご飯を即冷凍OK!電子レンジでふっくら解凍できる優れものです。管理栄養士オススメの「1日分の野菜」を使ったレシピもついてます♪

PRIDEsign Vol.116
PRESENT

読者プレゼント

読者の皆さまのお声をぜひお聞かせください。
P.17のアンケートにお答えいただいた方の中から
抽選でこちらの商品をプレゼントします。

応募締切:2022年10月31日(当日消印有効)

2

株式会社のうえ様 御協賛

お供えプリザーブドフラワー

5名様



ピンク

ブルー

茶

生花のような風合いを長期間保つプリザーブドのお供え花です。ガラスケースでお花を保護しているのでホコリが付きにくく、お花が長持ちします。ご先祖様への感謝の気持ちを瑞々しい供花でお仏壇に彩りを添えます。※色はお選びいただけません。

3

株式会社創心會 協賛

いきなり文字が変わる四角法!
かきかたトレーニングノート(第1集)

20名様

筆耕職人であり、郷土史家である佐藤圭一先生が考案した、美文字の書き方練習ノートが絶賛発売中!文字美しく見せる「コツ」=四角法を覚えることが、美文字への最短メソッドです。また、手書きは脳の活性化につながるといわれています。

PRIDE
sign

プライドデザイン vol.116 撮影秘話

創心会元気デザイン倶楽部 茶屋町 安藤 寿美子さま



「こういう機会があったら、真っ先にお声掛けするご利用者様です」と、スタッフたちにモデルとして太鼓判を押された安藤様。いつも積極的でムードメーカーの様な存在です。広報誌にも毎号興味を持ち、表紙モデルの方の紹介文を読みながら、ご自身の病いと照らし合わせたり、励みにするなど関心を寄せてくださっていたそうです。モデルは快諾。長年連れ添ったご主人と衣装を考えて撮影に臨まれました。近づく秋を意識し、大好きな御帽子とエレガントなトップスをコーディネート。撮影中、非日常的な機会に会話も弾み、「楽しかった、ありがとう」と喜んでくださいました。表紙には、そんな安藤様の快活な表情のお写真をチョイスしました。

障害福祉サービス版 未来ビジョンマップが遂に完成

この度、創心會グループの未来ビジョンマップに続き、障害福祉サービス版ビジョンマップが完成いたしました。2021年からアイデアを収集し、当グループ事業の【現状】と未来【10年後】のビジョンを一つのカタチに表したものです。このマップを通じて、創心會グループの障害福祉サービスが更に進化・発展・共生できることを目指しております。

私たちが取り組む障がい福祉サービスの今とこれから
人生100年時代の社会参加支援を目指して。

創心會グループ

現在 → 10年後

この障害福祉サービス版ビジョンマップを通じて、創心會グループのサービスが、更に進化・発展・共生できることを目指しております。

【現状】… 障害福祉サービスの流れ、繋がり、広がり表現しています。
【10年後】… 様々な地域の課題を見据え、地域と繋がり、我々の目指すべき方向=未来ビジョンを表現しています。

岡山で全国介護終末期リハケア研究大会開催

令和4年9月10日(土)、岡山国際交流センター(岡山市北区奉還町2丁目2番1号)にて、「第9回介護期・終末期リハケア研究大会2022岡山」が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、現地会場とオンラインでのハイブリッド形式で行われ、延べ百二十三名もの方にご参加いただきました。株式会社創心會は、本大会の事務局を務めさせていただきましたが、当日は大きなトラブルもなく無事に執り行うことができました。ひとえに運営実行委員の皆様を始め、ご発表者様、ご協賛企業様、ご来場者の皆様のご支援・ご協力いただいたお陰であり、厚く御礼申し上げます。本大会の総合テーマである「小児から高齢者までの介護期・終末期のリハケア」を掲げ、大会長講演を創心會グループ代表である二神雅一が務め、基調講演ではリハビリテーション医である太田仁史先生にご講演いただきました。また、シンポジウム「在宅看取りの実践」では、事例の介護者でもあるご家族様にもご登壇いただき、関わった専門職らの考察や学びを共有することが出来ました。その他、口述や動画発表も含め、県内外から全15事例が発表されました。改めて、本大会にご参加・ご協力くださいました皆様、大変有り難うございました。本大会を通じて、ご利用者様の課題を解決するには、多様な職種や事業所間での連携や地域における分野を超えた支援が不可欠であり、重要であると痛感しました。この経験を活かし、今後も益々研鑽し、ご利用者様や地域の課題に向き合っ

